



安全・安心

災害対策や、地域とのつながりを強める取り組みなどを進めます

市有施設の耐震化を進めます ▶ 72億9,210万円



区役所や区民センターの耐震化などを行い、災害時に地域の応急活動の拠点とするとともに、地域住民の避難場所として活用できるようにします。また児童生徒の安全確保のため、学校施設の耐震化・改築も行います。

地域の保健福祉活動を充実 ▶ 8,800万円

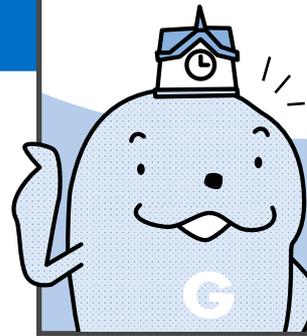
先行地区で、地域の課題を詳しく把握するためのアンケート調査を行い、高齢者の見守りなどを充実させます。また、保健師が積極的に地域へ出向いて、町内会と連携体制をつくるなど、地域の保健福祉活動を強化します。

障がいのある方の地域生活を支援 ▶ 3,350万円

障がい者支援に携わる人材の育成や事業所支援などを行う中心的施設として、「基幹相談支援センター」を新設します。また、昨年に続き、市と民生委員などが知的障がいのある方の見守りを行い、地域とのつながりを拡大します。

ほかにも

特別養護老人ホーム新築費などの補助(5億4,700万円)、高齢者からの緊急通報や健康相談に対応する高齢者あんしんコール事業(2,140万円)など



では、どんなことに、取り組むのか、具体的に考えていこう！

※金額は10万円未満を四捨五入しています

救急安心センターさっぽろを新設

▶ 1億2,750万円

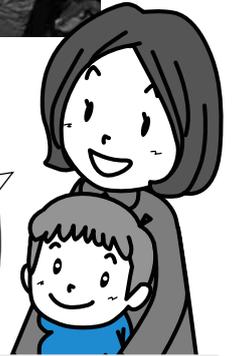
10月から運営開始

急病の市民からの電話相談に24時間365日対応する窓口を設置します。看護師などの相談員が、医療相談や医療機関の案内を行うほか、緊急時は119番(救急)への引き継ぎなどを行います。



救急安心センター(大阪市)

救急安心センターができれば、子どもが夜中に急病になっても、相談に乗ってもらえるので安心ね



子ども・若者

子育てしやすい環境を整備し、子どもの健やかな成長を支えていきます

私立保育所の整備費などを補助

▶ 29億5,640万円

待機児童解消のため、私立保育所の新築・増改築などの費用を補助するほか、既存の私立幼稚園の建物の一部や敷地を利用した「私立認定保育所」を新設し、保育所定員を1,210人増やします。



不登校の子どもたちを支援

▶ 7,130万円

不登校の子どもたちの悩みや不安に応じた支援などを行う「教育支援センター」を新設するほか、学校で子どもの心のケアを行う「心のサポーター」などを増員します。また、いじめや自殺防止のための啓発にも力を入れていきます。



教育支援センターが新設されるリフサッポロ(白石区)

ほかにも

私立幼稚園の預かり保育などの運営費を補助(9,550万円)、常設の子育てサロン運営費を補助(9,720万円)など